



桜中だより

坂戸市立桜中学校
校長 石田章浩
令和5年3月15日
【第11号】

学校教育目標

自ら学び心豊かでたくましい生徒の育成



生徒数	1年生	99名
	2年生	110名
	3年生	99名
	全校	308名

「第12回卒業式」式辞

長い冬も終わろうとし、やわらかな春の日差しが感じられる季節となりました。3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。

今年も在校生が各教室で皆さんの卒業していく姿を見届けてくれています。

保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。心身共にたくましく成長したお子様の姿に、感慨も一入のことと拝察いたします。また、これまで本校の教育活動に深いご理解とご支援を賜りましたことに心より感謝いたします。本当にありがとうございます。

さて、3年生の皆さんは、桜中学校で学んだ3年間の全てをコロナウィルス感染症の影響を受けてしまいました。振り返ってみると、入学式は行われたものの5月末まで臨時休業日となり、6月から分散登校、短縮授業を行いながらのスタートでした。体育祭は9月に延期し実施。文化会館での合唱祭は行わず自由曲1曲の学年ごとの合唱でした。2年生になり、体育祭は予定通り実施できました。この夏は東京オリンピックが開催され、「13歳真夏の冒険」という実況の中、同世代の選手が金メダルを獲得した出来事は記憶に新しいと思います。この出来事に勇気づけられ、「よし。新人戦活躍するぞ。」と思った人もいたでしょう。しかし、大会はすべてが中止となってしまいました。合唱祭も中止でした。3年生になると、延期していた修学旅行が4月に大きなトラブルもなく実施できたことは、大きな学びになったことでしょう。そして6月。皆さんの代になって最初で最後の公式戦。それぞれが目標を持ってプレーしたことに敬意を表します。また、いくつかの競技で県大会、関東大会に出場しました。10月には、3年振りに文化会館で開催した合唱祭。皆さんの合唱は鑑賞する者に感動を与えてくれました。様々な変更や規制がある中、何事にも一生懸命にひたむきに行動してくれました。これからもどうか「ひたむき」に行動することを期待します。

さらに改めてこの3年間の広く振り返ると、学校や社会で様々な変化がありました。学校では、1人1台タブレットが貸し出され、

授業で活用しました。令和4年4月には法律が改正され、成人年齢が18歳に引き下げられ、あと3年で皆さんも成人となります。世界に目を向ければ、昨年からの紛争が続いており、私達の生活には大きな影響が出ています。平和の尊さを感じるとともに、世界はつながっていることを感じます。

私達が生きている時代は、先行き不透明で予測が困難な時代と言われています。世の中を海に例えると、海は一日の中で、潮の満ち引きがあります。波が穏やかな日もあれば、波が荒れて生命を奪ってしまふこともあります。だから、絶えず流れを読み、変化に対応していかなければなりません。そのためには、まずは自分の足元をしっかりと見つめてください。今自分ができることは何か。何をすべきか。そして、自ら動き、情報を集め、分析し、周囲に合わせながら柔軟に自分を変化させていくことが必要だと思います。自分が変われば周りが変わります。まさに潮目が変わります。しかし、不易と流行という言葉があるように、どんな時でも変えてはいけないものもあります。基本は変えてはいけません。迷った時は基本に戻ってみてください。必ずヒントがあります。

何か暗い話ばかりになっているかもしれませんが、自分を信じて、未来を信じて、常に「半歩前進」の精神で生きていってください。教職員一同、皆さんの門出をお祝いするとともに、さらなる成長をお祈りします。

結びに、卒業は終わりの日ではありません。始まりの日です。それぞれが決めた道に向かって、夢に向かって「位置について ヨーイ スタート」

1年間ありがとうございました

3月15日(水)に第12回卒業式を挙行し、3年生99名が卒業していきました。4月からそれぞれが選んだ場所で、きっと活躍をしてくれることと思います。2週間もすれば、2年生は、最高学年として、義務教育最終年として、生活を始めます。3年生の1年間は、誰に聞いても、「あっ」という間です。後伸ばしをすると、後悔することになります。だから、1日1日を大切にしてください。1年生は、「先輩」と呼ばれ、「後輩」が入学してきます。中学校生活にも慣れ、いわゆる「中だるみ」と言われる行動が見られることがあります。自覚を持った行動をしてください。

コロナウィルス感染症に悩まされた3年間でしたが、令和5年度は少しずつではありますが、その悩みは解消される方向に向かっています。もちろん、油断はしません。引き続き感染対策はとりながら教育活動を進めていくこととなります。

保護者の皆様へ。少し早いですが、1年間大変お世話になりました。令和5年度も引き続き、ご協力とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。